

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果における 校内分析から見た本校児童の様子

帯広市立豊成小学校 校長 岸梅 哲郎

1 実施日

令和3年5月27日

2 児童の実態（令和3年度全国学力・学習状況調査結果より）

（1）各教科の概要（○：成果，△：分析，●：課題）

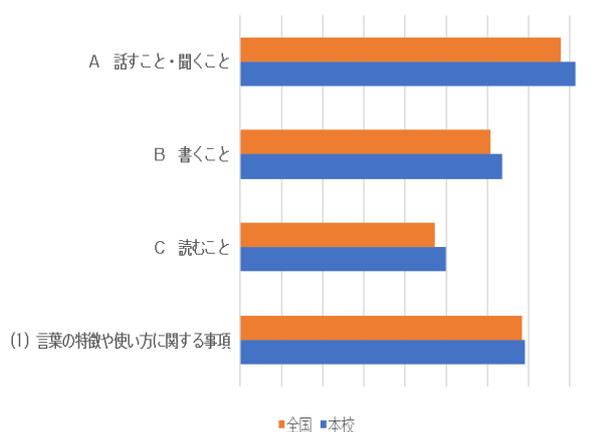
① 国語科

- 全ての学習指導要領の内容（「知識及び技能」「思考力，判断力，表現力等」）で，全国の平均正答率を上回っています。
- △ これまで，教科全般で取り組んできた日常の書く活動や表現する活動，課題とまとめを常に意識した授業改善に継続して努めてきた成果と考えられます。
- △ 日常の授業改善はもとより，読書活動の充実，朝読書，朝学習，宿題，日常の繰り返し学習，丁寧な個への指導の充実の成果が表れています。
- 知識及び技能「言葉の特徴や使い方に関する事項」の設問において全国を下回っており，思考に関わる語句の使い方を理解し，話や文章の中で使ったり，漢字を文の中で正しく使ったりすることができるように，その都度，学習を進めていく必要があります。

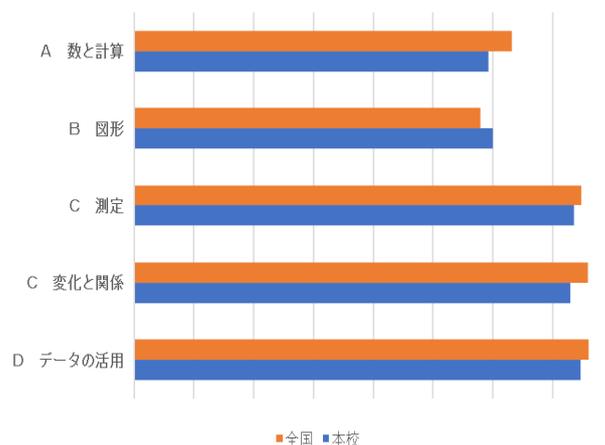
② 算数科

- 学習指導要領の領域「B 図形」で，全国の平均正答率を上回っています。
- △ 実物投影機などのICT機器を積極的に活用し，視覚的に理解しやすい工夫を行っている成果が表れています。
- 学習指導要領の領域「A 数と計算」「C 測定，変化と関係」「D データの活用」の設問において全国の平均正答率を下回っており，言葉や式，図，表，グラフなど用いて考える場面と，それを説明する場面を学習の中にしっかりと位置付けていく必要があります。

【国語科】



【算数科】



(2) 児童質問紙より

① よい傾向が見られた項目（全国と比べて）

- ・自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている。
- ・学校に行くのは楽しい。
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しい。
- ・家で自分で計画を立てて勉強をしている（学校の授業の予習や復習を含む）。
- ・学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う。
- ・課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。
- ・学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え（自分と同じところや違うところ）を受け止めて自分の考えをしっかりと伝えている。
- ・国語の勉強が好きだ。
- ・国語の勉強は大切だ。
- ・国語の授業の内容がよく分かる。
- ・国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしている。
- ・算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている。

② 改善を図っていく必要がある項目（全国と比べて）

- ・自分には、よいところがある。
- ・将来の夢や目標を持っている。
- ・人が困っているときは、進んで助けている。
- ・自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができる。
- ・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。
- ・自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している。
- ・算数の勉強が好きだ。
- ・算数の授業の内容がよく分かる。
- ・算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ。

《考察》

- 物事を自分ごととして捉え、行動することができています。また、相手を意識しながら学校生活を過ごすことができています。
- 国語科については、国語への興味・関心が高いです。
- キャリア教育を教育活動全般で進めていますが、将来のこと、将来に向けて今すべきこと、物怖じせず、目標に向かって挑戦することなど、つながりを大切にして、指導を重ねる必要があります。
- 算数科については、習熟度別・少人数指導等を進め、何ができるようになったのか振り返りを大切にした分かる授業に取り組む必要があります。

3 全国学力・学習状況調査の結果を受けて

- (1) 学習意欲を高め、社会で生きる実践的な力を身に付けるために、地域（文教ゾーン）と連携しながら身近な課題に基づいた体験的・問題解決的な学習を重視した教科指導やキャリア教育の充実に引き続き努めます。
- (2) 基礎的・基本的内容を確実に定着させるため、習熟度別・少人数指導やICTの効果的な活用等、指導方法の改善を図り、目標・指導・評価の一体化を重視した授業改善を行います。
- (3) 主体的・対話的で深い学びの視点から「何を学ぶか」だけではなく「どのように学ぶか」も重視して授業を改善します。

4 改善方策

- (1) 今回及び今後の各種調査結果の分析を基に、課題と成果の共有化を常に図りながら日常の指導に生かすとともに、解き直しの機会を設け、確実に全員が理解することを目指します。また、再テストを行い理解の定着を目指します。
 - ・全国学力・学習状況調査、全学年標準学力調査、全学年チャレンジテスト
 - ・Webシステムフォロー・サポート問題 等
- (2) 全校共通の取組を推進し、全体の底上げを目指します。
教室環境、学習規律の徹底、校内研究とリンクした学習過程（単元の指導計画に基づき課題とまとめを明示した一単位時間の授業づくり、授業の終末の振り返りの重視）、生徒指導の充実、ICTの効果的な活用、ノート指導（まとめる・書く活動の重視）等
- (3) 校内研究での検証を生かした授業改善に努めます。
 - ・日常の授業の充実
 - ・特別支援教育の手法を取り入れた効果的な指導の充実
- (4) 習熟度別・少人数指導を徹底した授業づくりを行います。
 - ・個に応じた指導の充実
 - ・すべての児童にとって分かる喜び、できた喜びが実感できる授業の創造
- (5) 望ましい生活習慣や学習習慣を確立するための家庭への啓発の継続化を図ります。
 - ・家庭との情報の「交信」を意識した取組の推進
 - ・家庭との連携をより深めていくための手立ての工夫
- (6) 長期休業日等における補充学習を実施します。
 - ・学習の機会の提供（お勉強会の実施）
 - ・児童の実態に応じた課題の提供（学習の習慣化も図る）

